



マーケット・レポート

# Weekly Guide 2026.5.25

りそなアセットマネジメントの  
YouTubeチャンネルで、  
音声付きの解説動画を  
ご覧いただけます！



## 主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、米国とイランの停戦合意に対する期待が再び高まり、株式市場は半導体株を中心に急反発しました。S&P500指数は週間で+0.9%（8週続伸）、ナスダック総合指数は同+0.5%、独DAX指数は同+3.9%、日経平均株価は同+3.1%上昇し最高値を更新しました。10年国債利回りは、米国が前週末比▲4bpの4.56%、ドイツは▲13bpの3.04%に低下する一方、日本は+5bpの2.76%に上昇しました。ドル円相場は前週末比44銭円安・ドル高の159円18銭で引けました。WTI期近は前週末比▲8.4%の96.6ドル/バレルに低下しました。

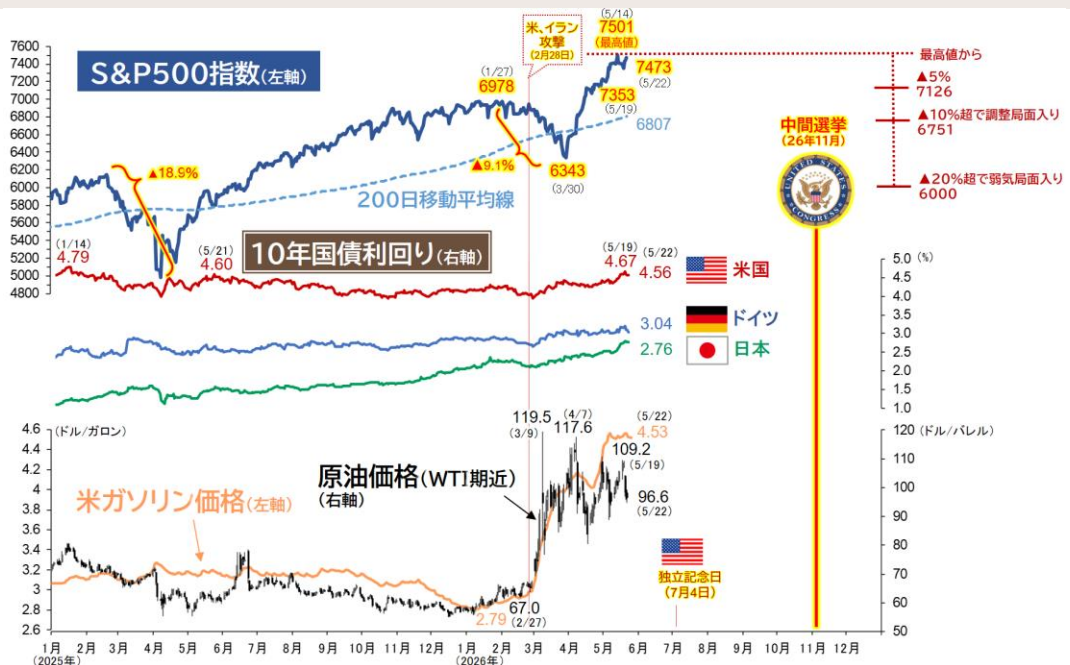
今週、米・イランの停戦合意が実現するかが市場を大きく左右することになります。また、先週までに主要企業の決算発表が一巡し、次の市場の焦点は日・米・欧の金融政策合会に移っています。今後発表される主要経済指標から政策変更の有無を見極めることとなります。

### 当面の注目イベント

- ◆米・5月消費者信頼感指数 (26日)
- ◆米・4月コアPCEデフレーター (28日)
- ★米・4月資本財受注 (28日)
- ◆日・5月東京コアCPI (29日)
- ◆日・4月鉱工業生産 (29日)
- ◆日・5月消費者態度指数 (29日)

★：りそな景気先行指数関連指標

先週前半はイランとの紛争長期化懸念から原油価格が上昇し、米10年国債利回りは一時4.67%まで上昇しました。S&P500指数は金利上昇が嫌気され、最高値から2%近く低い7350ポイント前後まで下落する場面がありました



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。

